

横浜市立岡津中学校 全体構造図

日本国憲法、教育関係法規
学習指導要領
横浜教育ビジョン
横浜市教育振興基本計画
横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領

＜ 岡中ブロック 9年間で育てる子ども像＞
主体的に自分の想いを表現していく子ども

未来を切り拓く子どもたちを育てます

- 自らねばり強く学び、生きる力 (知・体)
- 互いの違いを認めあい、思いやる心 (徳)
- 多様性を尊重し、グローバルな視点をもつ力 (公・開)

○全教職員同じベクトルで未来を担う生徒の育成に取り組みます。

- ・個に応じた指導を充実させるとともに、生徒が主体的・対話的で深い学びに向けた授業を目指す。
- ・挨拶を大切にし、自尊感情・自己肯定感を高め、互いの違いを認め合う人間尊重の精神を育てる。
- ・心と体を一体としてとらえ、学校生活や生涯を通して積極的に運動に親しむ資質や能力を育てる。
- ・社会的視野を広げ、社会の一員としての自覚と責任を高めるとともに郷土愛を育てる。
- ・小中一貫教育を推進するとともに地域や家庭、関係機関との連携を深め、地域に根付いた、開かれた学校を目指す。

各学年及び個別支援学級の目標

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かい合う力・人間性等
第一学年	中学生としてねばり強く学び続け、社会的視野を広げる知識と技能の基礎を身に付ける。	学校生活を通じて、主体的・対話的で深い学びに通じる思考力・判断力・表現力の基礎を養う。	中学生として自らを高めるために、ねばり強く学び続ける姿勢と、自尊感情・自己肯定感を高める人間尊重の精神を育てる。
第二学年	学びの基礎を活かしつつ、社会の中で自らが活躍できるための知識と技能を身に付ける。	主体的・対話的で深い学びを通じて自己実現の達成の基礎につながる思考力・判断力・表現力を養う。	社会に参画する姿勢を養うために、他者理解や社会の一員としての自覚の基礎を養う。
第三学年	社会貢献できる人材となるため、地域社会の一員として主体的に社会参画できる知識と技能を身に付ける。	自己実現を達成するために、主体的・対話的で深い学びに通じる思考力・判断力・表現力を発展的に養う。	社会の一員として自覚と責任を深め、社会貢献できる主体的な人間性の確立を目指す。
個別支援学級	社会生活に必要な知識と技能を身に付ける。	社会生活や集団生活において知識・技能を活用するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付ける。	日々の学習に主体的に取り組む。自立活動では、自分の特性を考えて取り組む。

育成を目指す資質・能力

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かい合う力・人間性等
国語	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようする。	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、わが国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
社会	社会的事象に関する基本的な知識を理解させるとともに、様々な様式の資料を使って調べ、情報を読み取り、それらをまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象について多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	社会的事象についての課題を主体的に解決しようとする態度を養い、基本的な知識についての理解をより深めようとしたり、社会的事象について多面的・多角的に考察しようとしたりする姿勢を身に付けるようにするとともに、社会参画の大切さについての自覚を深める。
数学	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
理科	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本的な技能を育てる。	観察、実験を行い、科学的に探究する力を育てる。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を育てる。
音楽	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、自己のイメージや感情などと関連付け、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わい、自分なりにその音や音楽を価値付けたりしながら、聴き深めていくことができるようにする。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に主体的、協働的、創造的に関わり親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
美術	対象や事象を捉える造形的視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
保健体育	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて試行し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
技術・家庭	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、意欲的に活用できるようにする。	小学校や他教科での既習内容および、日々の生活や社会の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養い、解決のための方策を探ることができるようにする。
外国語	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	日常的な身の回りの話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して即興で表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
道徳科	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、規範意識、場に応じた判断力、他者の気持ちを尊重する心情、意欲などの、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。		
総合的な学習の時間	探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。	実社会や実生活の中から課題を見だし、解決のための見通しをもって、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	課題のよりよい解決を目指し、探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、地域社会の一員として行動しようとする態度を養う。
特別活動	よりよい生活を築くための知識・技能を身に付けるようにする。	集団や社会の形成者としての思考力・判断力を身に付け、自己表現できる力を養う。	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度と自己の将来の生き方を考え、その実現に向けて日常生活を向上させようとする態度を養う。

人権教育 (含外国籍生徒に対する教育) : 多様性を踏まえた教育 「一人ひとりの人権を尊重し合う人間関係づくりを進め、相手の気持ちや立場を考えて行動できる子を育てる」という岡中ブロックの人権テーマに向けて、日々の授業や学校行事、環境づくりを通して、子どもの自尊感情、人権感覚、人権意識を育てる取組を推進する。	特別支援教育 : 多様性を踏まえた教育 ユニバーサルデザインの視点を踏まえ学びの場の充実を図るとともに、さまざまな教育のニーズを把握し、多様な教育の場を提供するなど、個に応じた指導や支援を行う。
キャリア教育 (自分づくり教育) : 教科等横断的な視点に立った教育 自己の特性と生涯の中での自己の役割、社会の仕組みと将来の生き方への理解と考えを深める機会を一層充実させる。	健康・安全に関する教育 : 教科等横断的な視点に立った教育 健康・安全を大切にする学びを推進し、清潔で整頓された環境づくりを一層充実させる。